

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		日常生活の指導			
目 標	(知) 日常生活における基本的習慣を身に付けるため、身辺自立に必要な知識・技能を身に付けるようにする。				
	(思) 日常生活における課題に対して解決したり、自分が考えたことを表現したりしようとする。				
	(学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、望ましい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。		(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。 (思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に伝えることができる。 (学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするすることができる。	学級 個別	169
	Ⅰ 学期授業時数				169
	2 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。		学級 個別	195
2 学期授業時数				195	
3 学 期		「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。		学級 個別	91
	3 学期授業時数				91
総授業時数					455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		生活単元学習	①社会「安全のしつけ絵本きをつけようね」(備成社) ②地図「新版はじめてにほんず」(平凡社) ③理科「米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験!!」(講談社) ④職業「絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん」(合同出版) ⑤家庭「ひとりでもできるもん4 うれしいごはん、パン、めん料理」(金の星社) ⑥道徳「絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん」(合同出版) ⑦外国語「えいごえほん どうさんがっこうにいく」(あかね書房)		
目標	(知) 身近な社会との関わりに気付くとともに、社会生活に必要な基礎的な能力を育てる。 (思) 日常生活に関係の深い事柄に関心をもつとともに、課題や解決策に気付き、考えたことを表現しようとする。 (学) 明るく豊かな家庭生活の大切さに気付くとともに、現在や将来の生活に生かす実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1学期	「新入生歓迎会に参加しよう」 ・新入生歓迎会	①②③④⑥⑦	(知) 入学した友達を知ろうとすることができる。 (思) 学部の友達との関わりについて関心をもち、感じたことを表現しよう とすることができる。 (学) 新しい仲間歓迎する気持ちを伝えようとするすることができる。	重複全体	2
	「季節を感じよう(1)」 ・作品作り ・お楽しみ会 ・ゲームやダンス、歌 ・校外学習 ・絵本の読み聞かせ		(知) 身の回りにおける生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に 必要なまじりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにおける生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に 必要なまじりに関わりについて調べてまとめたり、活動や体験を通して感じたこと を表現したりすることができる。 (学) 身近な集団に関わろうとする意欲をもち、友達と協力して活動したり 自分の役割を果たそうとしりしようとするすることができる。	重複学年 類型 学級	12
	「野菜の栽培をしよう(1)」 ・種まき、苗の植え付け、水やり、収穫	③	(知) 育てる野菜について知るとともに、自分の役割を果たそうとすること ができる。 (思) 栽培活動を通して、身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それら を表現することができる。 (学) 植物を大切に育てようとするすることができる。	学級	8
	「調理実習をしよう」 ・調理実習	④⑥	(知) 家庭に中の自分の役割に気付き、食に係る技能を身に付けることがで きる。 (思) 調理実習に必要な事柄に触れ、日常生活において課題を解決する力の 基礎を養うことができる。 (学) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとすることができ る。	重複学年 学級	2
	「1学期を振り返ろう」 ・1学期の振り返り ・教室の整理・掃除	⑤	(知) 1学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。夏休みについて 関心をもつことができる。 (思) 1学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを伝え ようとすることができる。 (学) 1学期の振り返りを通して、2学期への意欲をもつことができる。	学級	2
1学期授業時数					26
2学期	「食について考えよう」 ・季節の食べ物、栄養素	③⑤	(知) 身の回りの旬の食材や食べ物に含まれている栄養素などを知ることが できる。 (思) 家庭での食事や給食の献立から栄養バランスを考え、発表することが できる。 (学) 栄養バランスについて意識した生活を送ろうと意識することができ る。	学級	2
	「軽食を作ろう」 ・軽食の調理実習	⑤	(知) 家庭に中の自分の役割に気付き、食に係る技能を身に付けることがで きる。 (思) 調理実習に必要な事柄に触れ、日常生活において課題を解決する力の 基礎を養うことができる。 (学) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとすることができ る。	重複学年 学級	4
	「野菜、花の栽培をしよう(2)」 ・種まき、苗の植え付け、水やり、収穫	③	(知) 育てる野菜について知るとともに、自分の役割を果たそうとすること ができる。 (思) 栽培活動を通して、身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それら を表現することができる。 (学) 植物を大切に育てようとすることができる。	学級	6
	「季節を感じよう(2)」 ・作品作り ・お楽しみ会 ・ゲームやダンス、歌 ・校外学習 ・絵本の読み聞かせ	①②③④⑥⑦	(知) 身の回りにおける生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に 必要なまじりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにおける生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に 必要なまじりに関わりについて調べてまとめたり、活動や体験を通して感じたこと を表現したりすることができる。 (学) 身近な集団に関わろうとする意欲をもち、友達と協力して活動したり 自分の役割を果たそうとしりしようとするすることができる。	重複学年 類型 学級	12
	「買物学習をしよう」 ・売り手と買い手に扮しての買物練習	①②③④⑥⑦	(知) 金銭の扱いに関心をもつことができる。 (思) 教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学) 売り手や買い手という役割に、意欲的に取り組もうとすることができ る。	重複学年 学級	4
	「2学期を振り返ろう」 ・2学期の振り返り ・教室の整理・掃除		(知) 2学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。冬休みについて 関心をもつことができる。 (思) 2学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを伝え ようとすることができる。 (学) 2学期の振り返りを通して、3学期への意欲をもつことができる。	学級	2
2学期授業時数					30
	「季節を感じよう(3)」 ・作品作り ・お楽しみ会 ・ゲームやダンス、歌 ・校外学習 ・絵本の読み聞かせ	①②③④⑥⑦	(知) 身の回りにおける生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に 必要なまじりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにおける生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に 必要なまじりに関わりについて調べてまとめたり、活動や体験を通して感じたこと を表現したりすることができる。 (学) 身近な集団に関わろうとする意欲をもち、友達と協力して活動したり 自分の役割を果たそうとしりしようとするすることができる。	重複学年 類型 学級	8
	「3年生とのお別れ会をしよう」 ・お別れ会の準備、お別れ会をする	①②③④⑥⑦	(知) 行事について知り、準備や活動に対して見通しをもつことができる。 (思) 活動や自分の役割を理解し、飾りの準備や発表の内容を考えることが できる。 (学) 友達や先輩後輩に働きかけ、行事を成功させようとして協力して活動す ることができる。	重複全体 学級	4
	「1年間を振り返ろう」 ・1年間のまとめ		(知) 写真等を通して、1年間の行事を振り返ることができる。 (思) 自分が好きな行事や写真を選び、表現することができる。 (学) 1年間を振り返り、4月からは新しい学年が始まることを意識するこ とができる。	学級	2
3学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		作業学習 紙工			
目 標	(知) 働くために必要な習慣（挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け）を理解し、活用することができる。				
	(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。				
	(学) 他者との関わりの中で働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業オリエンテーション」 ・作業グループについて知る。		(知) 紙工の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して知ることができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2
	「製品作り」 ・紙工の工程を確認して作業をする。 ・牛乳パックから丁寧にラミネートをはがす。 ・ラミネートをはがした紙を細かくちぎる。 ・紙を水の分量に注意してミキサーにかける。 ・均一の厚さや形になるように慎重に紙をすく。 ・形が崩れないようローラーなどで水分を取る。 ・封筒、ばち袋、季節の置き物などを基本に製品づくりをする。 ・社会人講師による指導。		(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識して取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組みようとする気持ちを養う。		49
	「1学期のまとめ」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
1 学期授業時数					52
2 学 期	「製品づくり」 ・紙工の工程や製品づくりの確認をする。 ・文化祭に向けての製品づくりをする。 ・社会人講師による指導。		(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	29
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭に向けての製品づくりをする。 ・看板作り、店だし練習などをする。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返し同じ活動をすることで、見通しをもって活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		10
	「製品づくり」 ・ピースデパートに向けての製品づくりをする。 ・紙すき、製品づくりに班分けし、製品づくりを行う。		(知) 製品づくりに必要な技術について知ることができる。 (思) 手本を見たり、一緒に作業をしたりすることを通して、正しい技術を身に付けることができる。 (学) 講師への挨拶や返事、言葉遣いについて知り、実践しようとする気持ちを育てる。		20
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ・振り返り		(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		1
2 学期授業時数					60
3 学 期	「製品づくり」 ・みなとフェスタに向けての製品づくりをする。 ・封筒、ばち袋、季節の置き物などを基本に製品づくりをする		(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	27
	「1年間のまとめ」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
3 学期授業時数					28
総授業時数					140

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		作業学習 染め			
目標	(知) 教師とのやりとりを通じて働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、活用することができる。 (思) 教師からの働き掛けに応じることや、安全に道具等を扱ったりすることで、働くということを体験することができる。 (学) 作業学習を通して働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業オリエンテーション」 ・のり染めについて知る。 ・染めの工程(のり置き、色描き、のり落とし)について知る。		(知) 染めの作業学習でどのような作業をするか、体験を通して知ることができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2
	「製品づくり」 ・自分の担当の作業をする。 (のり染め、はさみ、貼り付け、裁縫など)		(知) 作業で使用する道具の名称を知り、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。		49
	「1学期のまとめ」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
1 学期授業時数					52
2 学 期	「製品づくり」 ・自分の担当の作業をする。 (のり染め、はさみ、貼り付け、裁縫など) ・文化祭に向けての製品を作る。		(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧に行うことができる。 (思) 報告や教師に必要な支援を求めたりしながら作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	29
	「文化祭に向けての取組」 ・製品づくりをする。 ・看板作り、店だしの練習などをする。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返し同じ活動をする中で、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		10
	「製品づくり」 ・ピースデパートに向けての製品を作る。 ・社会人講師による指導		(知) 製品づくりに必要な技術について知ることができる。 (思) 講師の説明や手本を見本にして、製品づくりのデザインや色の組み合わせを考えたりすることができる。 (学) 講師へのあいさつや返事、言葉遣いについて知り、実践しようとする気持ちを育てる。		20
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
2 学期授業時数					60
3 学 期	「製品づくり」 ・自分の担当の作業をする。 (のり染め、はさみ、貼り付け、裁縫など) ・みなとフェスタに向けての製品を作る。		(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧に行うことができる。 (思) 報告や教師に必要な支援を求めたりしながら作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	27
	「1年間の振り返り」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り」		(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
3 学期授業時数					28
総授業時数					140

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		作業学習 農業			
目標	(知) 働くために必要な習慣（挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け）を理解し、活用することができる。 (思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。 (学) 作業学習を通して働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学期	「作業オリエンテーション」 ・土作り、種まき、水やりなどの園芸の作業内容を知る。 ・使用する道具の名前や使い方を知る。	(知) 農業の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2	
	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培、収穫をして、袋詰め、販売をする。 ・製品作り（ポップ、キーホルダー）をする。 ・社会人講師から農業の基本的な栽培管理を学ぶ。	(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 繰り返し作業を行うことで準備や作業、片付けに見通しをもって取り組むことができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。		49	
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
Ⅰ学期授業時数				52	
2 学期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。	(知) 収穫から販売までの手順や流れを理解することができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。	グループ 学級	29	
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭の店出し準備をする。 ・文化祭販売用作物の収穫をする。	(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返して同じ活動をすることで、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したり、お客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		10	
	「野菜の栽培や収穫、畑づくり」 ・野菜の栽培、収穫をして、袋詰め、販売をする。 ・社会人講師から農業の基本的な栽培管理を学ぶ。	(知) 畑づくりから収穫、販売までの手順や流れを理解し、身に付けることができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 畑づくりから収穫することや販売することで達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。		20	
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
2学期授業時数				60	
3 学期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培、収穫をして、袋詰め、販売をする。	(知) 自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	27	
	「1年間の振り返り」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り」	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
3学期授業時数				28	
総授業時数				140	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		国語科	①国語「こくご☆☆」（東京書籍）		
目標	(知) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れる。 (思) 言葉が表す事柄を想起したり、受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「なまえ なあんだ」 ・場面の絵や写真を見て、何なのか、何と言っているのかを考えたり、表現したりする	①	(知) 生活の中で身近に見聞きしているものに名前があることを知る態度を身に付ける。 (思) 物の名称を覚えていく中で、どんな時に使うかなど、児童が知っている場面と関連付け、想起できるような。 (学) 多くの名前を覚え、学習や生活の中で活用していこうする態度を身に付ける。	学級	2.5
	「かいてみよう」 ・場面の絵や写真を見ながら、成り切って動作化したり、簡単なやり取りを行う ・場面の流れを考えながら、次の場面を想像したり、表現したりする	①	(知) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむこと。 (思) 書くことに興味関心をもち、日常生活において身近なものの形や絵など書く活動を取り入れることができる態度を養う。 (学) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。	学級	1
	「思い出を書こうⅠ」 ・体育祭の思い出を文字や写真で残す ・自分の思いを伝える言葉を知る		(知) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむ。 (思) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりする。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	1.5
	「本を読もう」 ・絵本の絵を見たり、教師の読み聞かせを聞いたりして、言葉や文字に関心をもつ		(知) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつ。 (思) 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりする。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	1.5
1 学期授業時数					6.5
2 学期	「どんなきもちかな」 ・場面の絵や写真を見ながら、気持ちを表現したり、その気持ちに合った表情記号を選んだりする	①	(知) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が気持ちや要求を表していることを感じる。 (思) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	2
	「お話を楽しもうⅡ」 (おおきなだいこん・おおきなかぶ) ・読み聞かせを聞く	①	(知) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 (思) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	2
	「思い出を書こうⅡ」 ・文化祭の思い出を文字や写真で残す ・自分の思いを伝える言葉を知る		(知) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむ。 (思) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりする。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	2
	「年賀状を書こう」 ・あいさつや自分の名前を筆記具で書く ・葉書サイズの大きさに文字を書くことに慣れる		(知) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむ。 (思) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりする。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	1.5
2 学期授業時数					7.5
3 学期	「書き初めをしよう」 ・筆を使って文字を書く	①	(知) 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の見本を身に付ける。 (思) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりする。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	1
	「ひらがなをよんでみよう」 ・自分の名前や教室内の掲示などに使われている、平仮名50音を読む	①	(知) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	1
	「思い出を書こうⅢ」 ・体験した行事を文字や写真で残す ・自分の思いを伝える言葉を知る		(知) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむ。 (思) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりする。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級	1.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		数学科	①数学「さんすう☆☆(1)」(教育出版) ②数学「さんすう☆☆(2)」(教育出版)		
目標	(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などが分かるとともに、日常の事象を数量や図形などに注目して処理する技能を身に付ける。 (思) 数量や図形などに着目し、基礎的・基本的な数量や図形の性質などが分かるとともに、数学的な表現を用いて表すことができる。 (学) 数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「個別学習」 *下記の単元に加え、適宜個別学習を行う	①②	個別の指導計画に基づく	個別	
1学期	「数と計算の学習をしようⅠ」 ・1対1に対応させる、過不足を数える(くみあわせ①②③、 ・10までの数を順序よく数える(10までのかずかぞえましょう①②③④、10までのかず) ・数字の読み書きをする(カードづくり①②③、10までのかず みえないものをかぞえる、うごきをかぞえる) ・10までの範囲の数で、一つの数を二つに分けたり、二つの数を一つにまとめたりする(いくつといくつ①②③④⑤⑥、10はいくつといくつ)	①	(知) もののものとを対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かる。 (知) ものの集まりと対応して、数詞が分かる。 (知) ものの集まりや数詞と対応して数字が分かる。 (知) 個数を正しく数えたり、書き表したりすることができる。 (知) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。 (知) 具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみることができる。 (思) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級	6.5
1学期授業時数					6.5
2学期	「図形の学習をしよう」 ・色や形、大きさに着目して分類する(なかまあつめ①②③) ・目的、用途及び機能に着目して分類する(なかまあつめ④⑤⑥) ・形の仲間集めを行う(まる、さんかく、しかく①②③④、いろいろなかたち①)	②	(知) 色や形、大きさに着目して分類することができる。 (知) 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 (知) 身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知る。 (知) 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思) ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。 (思) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級	7.5
2学期授業時数					7.5
3学期	「測定の学習をしよう」 ・「長さ」「重さ」「高さ」「広さ」「厚さ」「深さ」などの概念について理解する ・一方を基準にして比べたり、量の大きさを用語を用いて表現したりする(ながい、みじかい、おもい、かるい、たかい、ひくい、ひろい、せまい)	②	(知) 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かる。 (知) 二つの量の大きさについて、一方を基準として相対的に比べることができる。 (知) 長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かる。 (思) 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準として比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級	3.5
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		音楽科	①音楽 「音楽☆☆☆☆」 （東京書籍）		
目標	(知) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。 (学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を豊かにする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「季節の歌を歌おう（春・夏）」 ・春、夏を感じることができる曲で歌ったり、身体表現をする活動	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 器楽の活動を通して、曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (思) 身体表現活動の活動を通して、曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (思) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見だして聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かったりすることができる。	類型 学級	3
	「音を楽しもう」 ・生活音を味わったり、それらを使用して音楽づくりを行ったりする活動		2		
	「いろいろな楽器で楽しもう」 ・音楽に合わせて、楽器を演奏する活動		4		
	「鑑賞（Ⅰ）」 ・音楽を鑑賞する活動 ・曲想を感じ取って、身体で表現する活動 ・世界の音楽の特徴について知り、日本の音楽との違いを感じる活動		4		
	Ⅰ学期授業時数				13
2 学 期	「季節の歌を歌おう（秋・冬）」 ・秋・冬を感じることができる曲で歌ったり、身体表現したりする活動	①	鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だして聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (学) 進んで音や音楽に関わり、協同して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を豊かにする態度を養う。	類型 学級	5
	「合奏に取り組もう」 ・伴奏に合わせて合奏する活動				6
	「鑑賞（2）」 ・音楽鑑賞をする活動 ・音楽の静と動を感じ取って、身体で表現する活動				4
2学期授業時数			15		
3 学 期	「季節の歌を知ろう（冬・春）」 ・冬、春を感じ取ることができる曲で歌ったり、身体表現をしたりする活動	①		類型 学級	1
	「心を込めて歌おう」 ・卒業証書授与式での歌を歌ったり、身体表現したりする活動				2
	「鑑賞」 ・日本音楽を鑑賞する活動 ・歌舞伎を鑑賞し、歌舞伎の特徴を知る活動				3
	「まとめをしよう」 ・1年間を振り返り、歌ったり演奏したりする活動				1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		美術科	①美術「小学館の図鑑NEOアート図解 はじめての絵画」(小学館)		
目 標	(知) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。				
	(思) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。				
	(学) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「学級旗の制作」(様々な道具・技法を用いた学級旗作り) ・テーマ、デザイン、配色決め ・アクリル絵具などの道具を用いての着色		(知) 自分が担当する部分を知り、決められた道具を扱って制作することができる。 (思) 自分が担当する部分や友達と一緒に活動していることを意識し、協力しながら作成しようとする態度を養う。 (学) 自分が担当する部分や友達と一緒に活動していることを意識し、協力しながら作成しようとする態度を養う。	学級	8
	「和紙を染めて作品作りをしよう」 ・染色技法の体験(折り染めなど) ・うちわや扇子など、和紙の特性を生かした制作 ・作品の鑑賞		(知) 材料や道具の扱い方を理解して、作品を作ることができる。 (思) 染色の技法を使い、工夫しながら表現することができる。 (学) 作品を完成させることを通して、創造活動の喜びを味わう態度を養う。	学級	5
Ⅰ 学期授業時数					13
2 学 期	「生活の中からモチーフを見つけて様々な材料で表現しよう」(身の回りものや人をモチーフとした制作活動) ・テーマ決め ・キャンパスを着色 ・キャンパス上に粘土などを使ってモチーフを制作 ・クレヨンや絵具などの道具を用いての着色 ・作品の展示、鑑賞	①	(知) 道具の扱い方を知り、線を描いたり色を塗ったり、粘土を形成したりすることができる。 (思) 身の周りの物や人をモチーフにして、よく観察して描き表現することができる。 (学) 作品を完成させることを通して、創造活動の喜びを味わう態度を養う。	学級	7
	「季節や行事に関わる作品作りをしよう」 ・季節や行事に関わる制作 ・テーマ決め ・作品の鑑賞		(知) 作品を作ることを通じて、材料や道具の扱いに親しむことができる。 (思) アイデアを基に表現方法や素材の扱い方を教師と一緒に確認し表現することができる。 (学) 作品を完成させることを通して、創造活動の喜びを味わう態度を養う。	学級	2
	「スクラッチアートに取り組もう」(スクラッチの技法を用いた表現) ・スクラッチの技法の理解 ・クレヨンや絵の具を用いた表現 ・作品の展示、鑑賞		(知) 材料や道具の扱い方を理解して、作品を作ることができる。 (思) スクラッチの技法を使い、削り方を工夫しながら表現することができる。 (学) スクラッチアートを制作する活動を通して創造活動の喜びを味わう態度を養う。	学級	6
2 学期授業時数					15
3 学 期	「ランプシェードを作ろう」(様々な素材を用いたランプシェードの表現) ・デザインの検討、作成 ・和紙や粘土などを用いての立体作品の創作 ・作品の鑑賞		(知) 考えたデザインに適した素材や道具を選択し、正しく扱いながら制作することができる。 (思) アイデアスケッチを基に表現方法や素材の扱い方を考え、工夫して表現することができる。 (学) 立体作品作りを通して、創造する喜びを味わう態度を養う。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部第2学年 重複B類型		保健体育科	① 保健体育「めくってはっけん からだのふしぎ」（学研）		
目 標	（知）各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 （思）各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 （学）各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「体づくり運動」（体育祭の取組） ・重複類型種目練習 ・入退場練習 ・全体練習	①	（知）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 （思）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、決まりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。	類型	9
	「体づくり運動」（体ほぐしの運動、体の動きを高める運動） ・体力測定 ・柔軟 ・サーキットなど		学年 類型	2	
	「水泳運動（Ⅰ）」 ・水中ウォーキング ・アクアビクス ・水慣れ ・パタ足など			2	
Ⅰ 学期授業時数					13
2 学 期	「水泳運動（２）」 ・Ⅰ学期と同内容	①	Ⅰ学期と同目標	学年 類型	4
	「保健」（性の学習） ・男女の体の変化 ・友達との関わり方など		類型 グループ	3	
	「球技」（ニュースポーツ） ・ポッチャ ・サーキットボールなど			8	
2 学期授業時数					15
3 学 期	「陸上競技」 ・持久走 ・リレーなど	①	（知）陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、用具や支援を入れ、身体の動きを理解することができる。 （思）陸上運動について自分の課題を見付け、支援を得ながら、解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学）陸上運動に進んで取り組み、決まりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動する態度を養う。	類型 グループ	5
	「ダンス」（体育祭の取組） ・学年種目練習（「南中ソーラン」など）		学年 類型	2	
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書	
高等部 第2学年		特別活動		
重複B類型				
目標	(知) 仲間と協働して様々な活動に取り組み、集団での適切な行動の仕方を身に付ける。			
	(思) 集団生活における課題を見出し、解決するために話し合ったり、意思決定をしたりすることができる。			
(学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「学級組織作り(1)」 ・学級組織作り ・係分担 ・1学期の目標決め	(知) 新しい仲間や1学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「学級活動(1)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 学級における諸問題について、仲間と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	4
	「体育祭の取組」 ・係分担 ・プログラムの確認 ・練習の取組の確認	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	重複全体 学級	3
	「学部集会(1)」 ・新入生歓迎会への参加	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学部 学級	1
	「1学期の振り返りと夏休みの生活」 ・集会活動 ・夏休みの過ごし方	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学年 学級	3
1 学期授業時数				13
2 学 期	「学級組織作り(2)」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の目標決め	(知) 2学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「学級活動(2)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 学級における諸問題について、仲間と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「修学旅行の取組」 ・修学旅行の日程の確認 ・修学旅行の活動の計画	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	4
	「文化祭の取組」 ・文化祭活動や当日の計画	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学部 重複全体 学級	4
	「生徒会選挙の取組(1)」 ・立候補者演説を聞く ・投票の仕方を知る。 ・投票の日時を確認する。	(知) 生徒会選挙の投票の仕方と投票の日時について知ることができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞くことができる。 (学) 積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学級	1
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」 ・集会活動 ・冬休みの過ごし方	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学年 学級	2
2 学期授業時数				15
3 学 期	「学級組織作り(3)」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の目標決め	(知) 3学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「生徒会選挙の取組(2)」 ・投票の仕方と場所を確認する ・投票	(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学級	1
	「学級活動(3)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 学級における諸問題について、仲間と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「学部集会(2)」 ・3年生を送る会	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学部 学級	1
	「1年間の振り返り」 ・集会活動	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標について教師と一緒に振り返ることができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を確認し、課題解決に向けての取組について教師と一緒に考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学年 学級	1
3 学期授業時数				7
総授業時数				35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

[illegible]

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 重複B類型		総合的な探究の時間			
目標	(知) 仕事や生活について知り、仲間と協力して活動しようとするすることができる。 (思) 自分を知り、自分の将来に興味関心をもって自分を表現することができる。 (学) 自分の将来のことを考え、自らの課題について考えたり判断したりして主体的に行動することができる。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「進路学習（年間計画）」 ・オリエンテーション ・1年間の進路学習計画について知る	(知) 1年間の総合的な探究の時間についての大切さを理解する。 (思) 1年間の総合的な探究の時間について知り、そのために身に付けておくことを考える。 (学) 総合的な探究の時間についての必要性を感じ、意欲関心を高める。	類型 学級	1	
	「職場体験実習事前」 ・職場体験実習の予定を知る	(知) 卒業後の生活について知り、職場体験実習をすることを意識することができる。 (思) 仕事内容に見通しをもち、教師と一緒に活動をすることができる。 (学) 実習内容に興味関心をもち、事前学習に取り組むことができる。	類型 学級	1	
	「職場見学」【校外学習】 ・事前学習で見学場所について知る ・職場に行き、見学をする ・事後学習で振り返りを行う	(知) 様々な仕事の種類や内容、職場での過ごし方などについて知ることができる。 (思) 見学をした感想を、「職場見学ノート」で表現することができる。 (学) 計画に基づいて安全に留意し、見学先の方との交流を通して社会参加や作業経験を行い、安全やマナーを意識して行動する態度を養う。	類型	4	
	「修学旅行事前学習（Ⅰ）」 ・行き先、日程、活動内容を知る ・係分担、個人目標、クラス目標を決める	(知) 行き先、日程、活動内容を知り、修学旅行に対してイメージをもつことができる。 (思) 自分でやってみたい余暇を選択することができる。 (学) 教師や友達の様子にも注目しながら活動する事ができる。	類型 学級	7	
Ⅰ学期授業時数				13	
2 学 期	「平和について考えよう」 ・平和について知り、大切にする方法を考える	(知)平和や平和な社会について知ることができる。 (思)平和を大切にする方法や平和を愛する気持ちを自分なりの方法で表現しようとすることができる。 (学)生活する中で平和を大切にしようとすることができる。	学級	2	
	「修学旅行事前学習（2）」 ・修学旅行のルールとマナーを確認する ・結団式を行う	(知)学校の場所やその周辺の施設について気付いたり、交通ルールや集団活動のマナーを知ることができる。 (思)交通ルールや集団活動のマナーについてロールプレイング等を通して実践することができる。 (学)学校周辺の施設や環境に興味関心をもち、活動することができる。		6	
	「修学旅行事後学習」 ・振り返りを行う	(知)卒業後の生活について知り、仕事の体験をすることを意識することができる。 (思)仕事内容に見通しをもち、教師と一緒に活動をすることができる。 (学)仕事内容に興味関心をもち、取り組むことができる。		2	
	「職場体験実習報告会」 ・職場体験実習について報告しあう	(知)職場体験の目的、日程、仕事内容（作業種目）、職場場所を知ることができる。 (思)職場実習を振り返り、今後の学校目標の目標を考えることができる。 (学)友達の発表を聞き、頑張り进行评估し合うことができる。		2	
	「国際理解学習」 ・外国の文化について知る	(知)外国と日本の文化の違いについて、音楽や写真等を通して知ることができる。 (思)言語や音楽などの異文化に触れ、楽しむことができる。 (学)外国の文化について興味関心をもち、言語や音楽を自分なりに表現することができる。		3	
2学期授業時数				15	
3 学 期	「進路学習（余暇活動について）」 ・交流やスポーツ体験を行う	(知)どのような余暇活動があるのかを知ることができる。 (思)余暇活動について見通しをもち、自分なりに活動に参加することができる。 (学)教師や友達の様子にも注目しながら活動をすることができる。	学級	4	
	「職場体験実習報告会」	(知)職場体験の目的、日程、仕事内容（作業種目）、職場場所を知ることができる。 (思)職場実習を振り返り、今後の学校目標の目標を考えることができる。 (学)友達の発表を聞き、頑張り进行评估し合うことができる。		2	
	「進路学習（1年間のまとめ）」	(知)1年間の進路学習を通して、自分に合った仕事や、仕事をしながら生活することについて、体験して積み上げてきたことを振り返ることができる。 (思)自分の得意なことや課題を考え、3年生での学習に活かすことができるよう考えることができる。 (学)職場実習を知り、学校以外での地域の事業所で実習を行うことを知ることができる。		1	
3学期授業時数				7	
総授業時数				35	